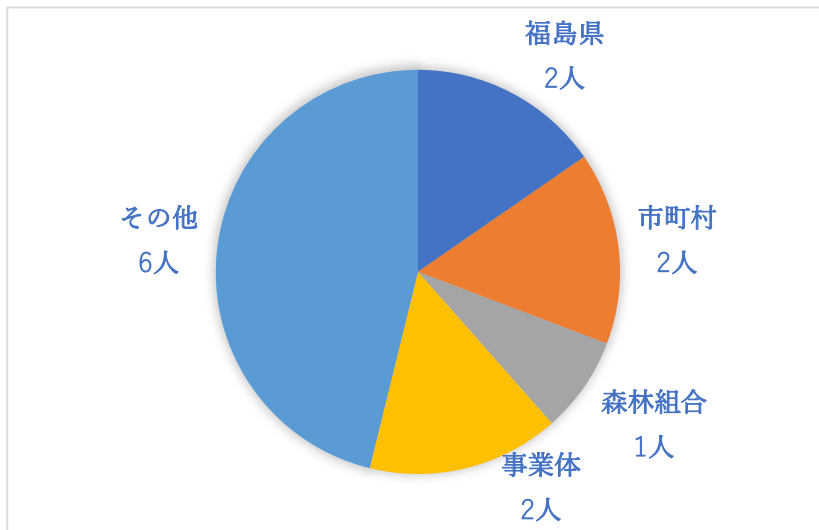


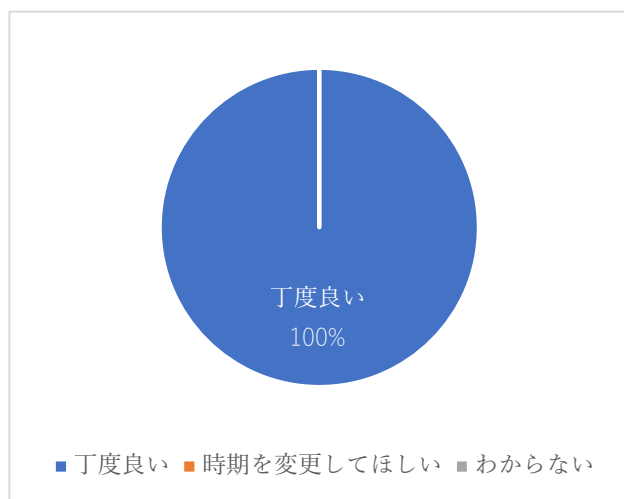
「令和6年度防草シートによる下刈省略化現地検討会」アンケート結果

■ アンケートにご協力いただいた参加者の所属

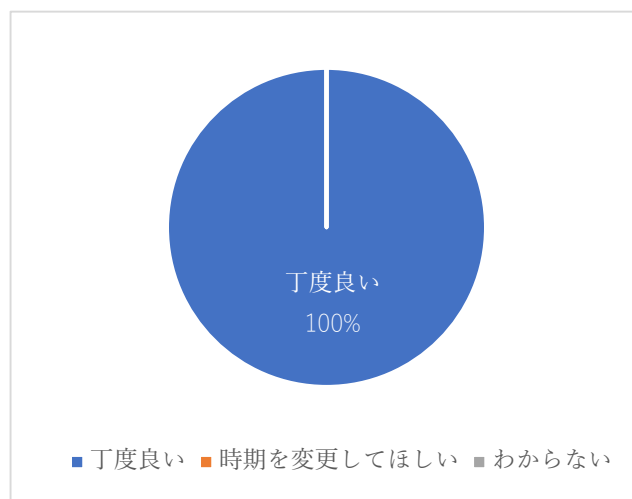


福島県職員が2名、市町村職員が2名、森林組合が1名、事業体が2名、その他（林業関係機関、他森林管理署職員）6名、計13名の方々からアンケートをいただきました。

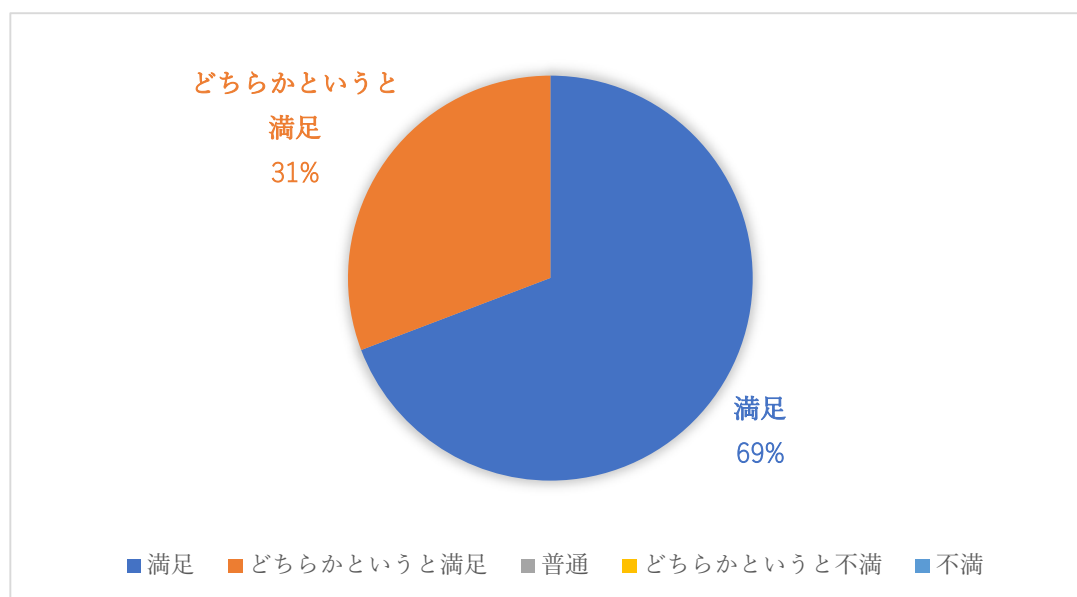
Q1 開催時期について



Q2 時間について



Q3 内容について



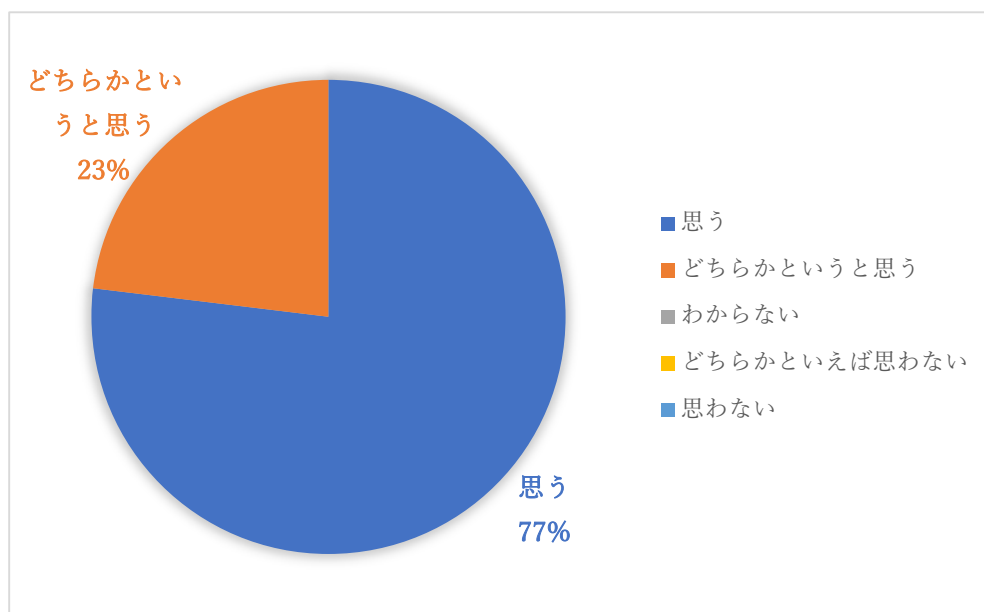
Q3-1 良かった点はどのような点ですか。

- ・現場の試験区の設置状況がとても分かりやすかった。
- ・各試験地を直接観察しながら、防草シートによる下刈省略化が検討できたのは良かった。
- ・データの比較がとても参考になった。
- ・数字でわかりやすく説明されていた。
- ・当署と違ったシートを使用した事例を見ることができ参考となった。
- ・わかりやすい資料で良かった。
- ・費用について検証している点。
- ・コスト、メリット等を正確に話していた点。
- ・取り組みから時間が経過した試験地を見学できて良かった。

Q3-2 不満だった点はどのような点ですか。

- ・急斜面での比較もどうなのか疑問がある。
- ・いろんな条件の試験区があればよかった。
- ・試験地内をもう少し見る時間があれば良かった。

Q4 次回同様の勉強会を開催する場合はまた参加したいと思いますか



Q5 感想や意見、改善点等

- ・今後も様々な事で検討や意見交換を行ってほしい。
 - ・下刈については、補助事業を担当するなかで、各森林組合や事業体から夏場の作業で大変であることを聞いており、県としても省略化に向けて様々な方法を検討していかなければいけないと感じた。
 - ・異常気象で夏季の高温はとても耐えられるものではないので、検討を幅広く実施して、今後の林業の発展につなげてもらいたい。
 - ・費用対効果的に導入は難しいと思うが、労務軽減、災害防止の観点から、何らかの対策は必要であると感じた。
 - ・下刈作業をする人が少ないうえに高齢化が進んでいるので実用化してほしい。
 - ・エリートツリーと組み合わせではどうか。
 - ・コスト面の数字も出していただけたら良かった。
 - ・シートの破損率が違っている箇所の理由はなぜか。
 - ・積雪の影響はあるのか。
 - ・国有林のメリットとして、必ずしも植栽林のみの成林を目指すだけでなく、多様な森林にすることもできるという署長のお話を聞いてなるほどと思った。
- 国有林にしかできないこと（新しい林業の試行など）を意識して、どんどん取り組みたいと思う。